

平成29年度事業報告

昨年は、将棋の天才中学生棋士藤井4段が、29連勝と言う大記録を打ち立て、さらに6段にまで昇段して日本中の注目を浴びて大変な人気になりました。文化に関わる者として誠に喜ばしい素晴らしい出来事でした。さて、当文化協会の事業も会員はじめ、関係者の皆様方のご協力のもと全て滞りなく終了いたしました事、心より感謝申し上げます。この3月には25回目の「春の文協まつり」が開催されました。会員の見ごたえのある作品展示と舞台演舞での素晴らしい出し物を皆様方にご披露することが出来ました。今回は周年記念と言うことで、抽選会を行いましたので大勢のお客様さんが最後まで応援して頂き大いに盛り上がりました。会員の皆様はこれを糧にしてさらに努力して邁進して行こうと感じた人も多くいたのではと思います。

時代は少子高齢化に突入し、高齢者の方が益々増えていますが、仕事や地域活動をしている人は認知症の予防になるとの研究があるそうですが、元気で長生きするためには是非、文化活動に参加していただいで元気な地域作りにご協力いただければと思います。今年は文化協会設立30年の年になりますので、秋には周年記念イベントを予定しております。文化にとっては厳しい環境にありますが、会員一同知恵を出し合って町民文化の継承に努めて行きたいと思っております。今後も今以上に温かいご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

1 文化振興に関する自主事業の企画推進

文化協会および加盟する各団体は、各種の事業を企画し、それぞれの運営体制の下、多彩な事業を展開してきた。それらを協会と加盟団体の関わり方の違いで区分して、以下に取りまとめた。

1) 文化協会の自主事業

【表-1】

東員町および関係諸団体のご協力をいただき、会員の一致協力により今年度も様々な企画事業を展開し、年度当初の計画を達成することができた。作品展・芸能祭(秋・春合同開催)・演劇祭等年々創意工夫と力量向上により来場者の好評を得た。また、恒例の囲碁将棋大会では、近隣の実力者の集う有力な大会として定着しつつある。9年目を迎えた「チョットいろいろ体験教室」も町民に定着し、文協への関心を盛り上げる面で大きく貢献している。

2) 協会加盟団体の自主事業

① 文協参画事業

【表-2】

加盟団体事業の内、協会が助成又は共催等として参画した事業を示す。

② 加盟団体活動事業

【表-3】

本年度も各団体の企画で多彩なイベントを開催する一方、近隣地域の様々な企画にも参加し精力的に活動を実施した。それらの一部を表に示す。

2 文化団体活動の育成指導

1) 視察・研修

① 会員研修旅行

11月19日(日) 参加者13名。

【行き先】伊勢神宮、神宮徴古館・農業館・美術館

② 理事研修旅行

6月25日(日) 参加者10名。

【行き先】関ヶ原民俗資料館、醒ヶ井木彫美術館

2) 他地区文化協会との交流

1月の桑名市と四日市市の新春の集いに参加した。12月16日(土)にいなべ市内で北勢地区文化団体交流会が開催され、参加した。

3 東員町文化教育事業への参画

町からの委託を受け東員町公民館講座・東員町文化祭の企画運営全般を担当実施した。町制施行50周年記念式典の茶会も受託した。

1) 公民館講座の企画運営

講師募集・登録から始まり、各講師間のスケジュールと会場調整・募集要項の作成・町広報掲載・応募者の受け付け・諸調整及び開講に伴う各種事務作業を担当した。本年度は募集講座数37に対し29講座が開講。受講生は221名に達した。受益者負担と受講への意欲高揚を図るため有料化の3年目であった。

2) 東員町文化祭の企画運営

受託の展示事業に加えて協会の自主事業を織込み、演劇祭・囲碁将棋大会・講座卒業作品展および大茶会等を実施した。その結果は、表-1に示した。

3) 第29回東員「日本の第九」演奏会・第36回東員町音楽祭の共催

4) 町および外部関係団体への参画

総合文化センターひばりホール等で催される町および外部関係団体の事業の内関連のある事業については後援形式で参画した。

4 組織的活動の充実・強化

各種委員会活動及び事業のプロジェクト体制が定着し、各位の献身的な努力のお陰で、年間事業計画を滞りなく成功裡に終えることができた。運営に携わっていただいた協力者は、協会役員のみでなく、多数の会員・町民有志の方々もあり、その奉仕活動に対して深く感謝する。

5 目標達成に向けた施策

文化協会が企画する各種行事の内容の周知徹底・参加の呼び掛け・実施結果の報告などを通じて協会の実態を知っていただき、町内・近隣の方々に“文化”を身近に感じ、興味を持っていただけるよう情報の発信に努めている。更に加盟諸団体の活動を支援する立場からも相互の意思疎通に努めている。

1) 広報誌「ひばり」の発行

企画および取材から編集に至るまで、あらゆる内容を協会の広報委員が担当し、最新号は第 84 号を迎えることができた。内容は、著名な文化人の寄稿を始め協会および加盟団体の活動状況の広報・近隣関連団体の紹介等多岐にわたる。町内各戸配布および近隣の有力施設での常設配備を通じて内容の浸透を図っている。

各号の表紙は加盟団体や個人会員の作品等で構成した。また、本誌の PR 面での有効性を認めて頂いた近隣企業からの広告掲載の増加に繋げる等、それぞれを担当する会員の努力にも、敬意と謝意を表したい。

2) ホームページの運用

上記広報誌とタイアップしホームページの運用は軌道に乗っている。

3) 常設展示コーナーの有効活用

総合文化センターホールの常設コーナーでの作品展示・団体紹介等を、加盟団体・個人会員間の調整により通年開催した。

4) 加盟団体への助成

団体の活動を支援するため、積極的に共催・後援を行うとともに、16 団体に対し、総額 374,970 円の助成をした。(表-2 参照)

表一 平成29年度文化協会自主事業(含受託事業)実施結果 (その1)

事業名	開催日		事業の概要及び実績	
	開催場所	来場者・参加者数	運営主体	実施結果等
1 どういん寄席 第36回	笹尾コミセン 7月9日	109	どういん寄席 実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> 東京の落語・講談界に通じた組織「寺子屋」の紹介で毎回名門の若手芸人を招致し、文協関係団体等の前座も加え来場者を楽しんでいただけた。 東員町に本場の芸を紹介し 日本古来の伝統芸の普及に努めている。 第36回出演芸人と演目 (前座) 講談 神田みのり 「道場破り」 箏曲演奏 箏曲麗明社「廣翔会」 落語 柳家さん若 「鱧の太鼓」 薩摩琵琶演奏(細川華鶴子)
町制施行50周年 2 記念事業東員町 文化祭 (50回)	10月28日～ 11月5日			<ul style="list-style-type: none"> 町受託の展示全般に加え、文化協会独自の企画を加え町民文化祭として行事を盛り上げた。 展示PTや町民の方の協力で、東員町の文化力の高さを町内外にアピールできた。
オープニング	10月28日 総合文化センター 正面玄関外	72		<ul style="list-style-type: none"> 町長はじめ来賓の方々を迎え 開会挨拶・テープカットに引き続き、Glow Mix☆による華麗なHIP HOP演技で文化祭の幕を開けた。
作品展示会 (受託事業)	10月28日～ 11月5日 総合文化センター	2,173	展示PT	<ul style="list-style-type: none"> 出展数は、425点で昨年より約100点減であった。作品のレベルも年々向上し全般的に評価が高かった。 課題として、出展作品数を増やす具体的な手立てを探り実践する。 同時開催の学校作品展は中学校と小学校の作品が同じ2階で鑑賞でき、大変好評であった。 町外の来客数の増加の手立てとして、町外へチラシ配布を増やすなどをする。
囲碁将棋大会	10月22日 総合文化センター	121	囲碁同好会 将棋愛好会	<ul style="list-style-type: none"> 囲碁はS級(5段以上)を設け、A, B, C, D級の5クラス分を行った。将棋は従来通り3クラスで実施。東員町・近隣市町の有力者が集う会として定着している。将棋の子どもが昨年比で倍増している。
体験教室	10月29日～ 11月4日 総合文化センター	50	事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今回の体験教室は8教室開催し、町民からの期待の声も聞かれるようになった。 さらに、公民館講座、文協講座を参加者が受講していただければと思う。 文化協会の認知度向上・会員増加につなげるように一層の努力を重ねたい。
演劇祭 「時代劇まつり」	11月4日、5日 総合文化センター ひばりホール	600	劇団員弁川	<ul style="list-style-type: none"> 前回、定期公演としては最終の「千秋楽公演」を閉幕。劇団員弁川を20年という長期にわたり御最良頂いたお客様へ、お礼の気持ちを込めて2日間、演目を替えての大衆演劇(人情時代劇)6本の上演。 出演者の熱演とおお客様の惜別の想いが相乗効果になって、感動の時代劇であった。
大茶会	11月5日 総合文化センター	192	大茶会 実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> 本年度は裏千家が担当。和室にて大勢の方に順次入室して頂き、伝統的な雰囲気味わっていただいた。 お席には禅語「山雲海月の情」の軸と鶴鶴の香炉でお茶の世界を体感してもらった。

表-1 平成29年度文化協会自主事業(含受託事業)実施結果 (その2)

事業名	開催日	事業の概要及び実績		
	開催場所	来場者・参加者数	運営主体	実施結果等
4 公民館講座 (受託事業)	前期:6月～10月 後期:11月～3月 通期 6月～3月 総合文化センター	221	事務局	<ul style="list-style-type: none"> 募集講座数37のうち29講座(天体・気象を含む)を開講した。2年前から受託者負担と受講への意欲高揚を図るため有料化した。前年度と比べて、受講生は36名減少した。町民のニーズの把握や受講時間等を検討して、東員町と東員町教育委員会の指導の下、さらに受講生が増えるように次年度の計画を進めていく。 受講生の成果を披露する場として、作品展示を奨励し講師・生徒とも新たな目標に向け努力して頂いた。
5 文協講座	11月～3月 4月～8月 総合文化センター	75	事務局	<ul style="list-style-type: none"> 26年度から4月～8月にも開講して講座数を増やした。 今年度は募集 17 講座の内 10 講座を開講した。受講生は前年と比べて 13 名減少した。 公民館講座のフォローアップ講座として、講師の先生と連携をとって、受講生を増やしていきたい。
芸術 6 第25回 春の文協まつり 作品展示会 体験教室 大茶会 囲碁将棋大会	3月7日～11日 総合文化センター	1,245	展示PT	<ul style="list-style-type: none"> テーマ「めざそう豊かな文化の町」 全般的に作品及びレイアウトは好評であった。課題は、最終日は駐車場に警備員配置を社会教育課にお願いする。展示説明会の日程を早くする。開催中の新聞取材記事だけでなく、事前の広報活動に尽力する。
	3月7日～10日 総合文化センター	95	事務局	<ul style="list-style-type: none"> 10教室とも、内容は好評であった。会場に来て、参加したいという方も見えたので周知に一層の努力をする。 講師の協力を得て、広報の工夫と企画力で少しでも参加者数を増やしたい。
	3月11日 総合文化センター ひばりホール	790	芸能祭PT	<ul style="list-style-type: none"> 芸能部会の14 団体総勢約340名が午前10時から午後3時30分頃まで出演。フィナーレの後「お楽しみ抽選会」を行った。日頃の練習の成果と鍛錬が発揮された素晴らしい芸が来場者を魅了した。 スタッフの運営と出演者の協力で進行がスムーズであった。フィナーレの後に抽選会で、多くの方に参加してもらった。抽選に関しては、抽選箱に抽選券を入れていただく時間がプログラムに明示されてなく迷惑をかけた。
	3月11日 総合文化センター	280	大茶会 実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> 表千家が担当。教育委員会の前ロビーをパーテーションで囲んで、鈴鹿山脈の水彩画を遠景にして、野点の雰囲気を感じ出し、茶会を開催した。大勢の方に抹茶を振る舞い、伝統文化に触れ味わっていただいた。
	3月18日 総合文化センター	159	囲碁同好会 将棋愛好会	<ul style="list-style-type: none"> 囲碁は、棋力によりS、A、B、C、D級の5クラス、将棋は3クラスに分けスイス方式で各人4回戦を行い、順位を競った。東員町、近隣市町などから多数参加された。今回は、愛知・岐阜・奈良県から7名の参加があった。将棋の部では、中学生棋士藤井聡太の活躍もあり、54名のうち28名が小中学生であった。
7 会員研修旅行	11月19日 伊勢市	13	事務局	<ul style="list-style-type: none"> 午前中の神宮美術館では、企画展「繊細な技巧の彩」の着物や帯などの染織作品に魅了された。 神宮農業館・神宮徴古館では、神宮の式年遷宮や日々の営みなどの資料から日本の伝統文化に触れた。 午後は、内宮と外宮参拝。心残りは、式年遷宮記念「せんぐう館」が台風の影響で臨時休館であったことでした。
8 理事研修	6月25日 岐阜県・滋賀県	10	事務局	<ul style="list-style-type: none"> 午前中は、せきがはら史跡ガイドの方に歴史民俗資料館や関ヶ原の合戦の史跡を案内してもらいました。 1600(慶長5)年9月15日午前8時ごろから午後3時までの天下分け目の戦いの迫力ある解説から史実に触れた。 午後は、醒井にて地蔵川の梅花藻で心癒され、木彫美術館では旧醒井村上丹生出身の森大造、先輩彫刻家の作品を鑑賞。あらためて文化の継承としての施設の存在意義を実感した。

表-2

平成29年度 加盟団体事業（文協 参画実績）

団体名	事業の内容	開催(開始)日	開催場所	文協参画	
				形態	助成申請
1 陶芸第一クラブ	作品展示	6月30日(金) ~7月13日(木)	川スミメガネ本店	主催	有
2 楽絵筆	第10回楽絵筆グループ展	7月5日(水) ~9日(日)	東員町総合文化センター	後援	有
3 東員囲碁同好会 東員将棋愛好会	第32回中日新聞社 楯争奪囲碁将棋大会	7月17日(月)	東員町総合文化センター	共催	有
4 Glow Mix☆	TOIN キッズダンス PARTY 2017	8月27日(日)	イオンモール東員 カブキコート	参加	有
5 YYフラグループ	オータム コラボレーション	11月5日(日)	四日市文化会館	参加	有
6 東員絵画クラブ	第30回東員絵画クラブ展	8月10日(木) ~13日(日)	くわなメディアライヴ	後援	有
7 箏曲麗明社「廣翔会」	第25回新しいぶき 邦楽コンサート	9月17日(日)	四日市文化会館	後援	有
8 員弁百人一首の会	第28回東員百人 一首かるた大会	10月1日(日)	東員町武道館	共催	有
9 気功クラブ	青空気功	10月9日(月・祝)	中部公園	主催	有
10 YYウクレレグループ	第6回ウクレレ交流会 及びミニ発表会	12月3日(日)	東員町商工会館	主催	有
11 金雀枝短歌社	第22回みえ県民 文化祭短歌大会	10月9日(月・祝)	三重県総合文化センター	参加	有
12 東員町大正琴クラブ	彩音会大正琴コンサート	11月26日(日)	四日市文化会館	参加	有
13 柴山茶華道教室	初釜	30年1月21日(日)	桑名別院(本統寺)	主催	有
14 バトンメイツフェニックス	第43回全日本バトントワリング 選手権 東海支部大会	30年2月11日(土) ~12日(日)	日本ガイシホール	参加	有
15 ニットルームかわまつ	ニットショー	30年3月4日(日)	NTNシティホール	参加	有

表-3

平成29年度 加盟団体活動事業（実績）

団体名	実施計画	団体名	実施計画
1 陶芸第一クラブ	陶芸第一クラブ作品展示会 常設展示ケース展示	17 飛龍東員太鼓	奉納太鼓
2 ひばり窯陶友会	常設展示ケース展示	18 劇団 員弁川	とういん演劇祭 出前公演、ふれあい演芸
3 東員フォトクラブ	文化祭・文協まつり出展 常設展示ケース展示	19 Glow Mix☆	TOINキッズダンス PARTY2017
4 東員絵画クラブ	第30回東員絵画クラブ展 東員絵画クラブ常設展	20 YYフラグループ	東員イオン ミニ発表会
5 書道第一クラブ	第31回全国シルバー書道展 三重展 常設展示ケース展示	21 バトンメイツフェニックス	第43回全日本バトントワリング 選手権 東海支部大会
6 楽 絵 筆	楽絵筆グループ展	22 YYウクレレグループ	第6回ウクレレ交流会
7 金雀枝短歌社	金雀枝短歌社短歌大会 みえ県民文化祭短歌大会	23 石垣茶華道教室	文化祭出展
8 しゃくやく俳句会	文化祭出展 春と秋の吟行俳句会	24 柴山茶華道教室	春の大茶会 初 釜
9 NPO法人新邦楽 四ツ葉グループ	文協まつり芸能祭出演	25 茶道裏千家	秋の大茶会
10 箏曲麗明社「廣翔会」	近隣文協演奏会出演 第25回「新しいぶき」コンサート	26 ニットルームかわまつ	ニットショー 常設展示ケース展示
11 東員町大正琴クラブ	彩音会大正琴コンサート	27 東員囲碁同好会	第32回中日新聞社楯争 奪囲碁将棋大会
12 笹尾民踊クラブ	文協まつり芸能祭出演	28 東員将棋愛好会	第32回中日新聞社楯争 奪囲碁将棋大会
13 笹尾吟詩会	祥寿大会 連合吟大会	29 員弁百人一首の会	第28回東員百人一首かるた大会
14 員弁東部吟詩会	関心流資格別認定審査会 関心流雅号者大会	30 とういん屋演芸の会	第36回とういん寄席開催
15 菊水流詩舞東員クラブ	笹尾睦会誕生会 菊水流剣詩舞道本部55周年記念大会	31 気功クラブ	青空気功
16 民謡寿会	笹尾睦会誕生会 とういんわくわくフェスタ2017	32 東員パソコンクラブ	文化祭出展